

1.ご使用前に

- 本製品をご使用になる前に必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法を十分理解した上でご使用ください。使用方法がわからないままのご使用は絶対におやめください。
- この説明書は大切に保管いただき、必要に応じてお読みください。
- お客様の誤った使用方法で発生した破損や故障、事故に関しましては、弊社は一切の補償をいたしかねますので予めご了承ください。
- ポンプの空回しは絶対にしていただき、必ずパイプとホースを正しく接続し、フィルター（ポンプ）の中の水を通してから電源を入れてください。
- キャニスター部とポンプ部をつないでいる黒いゴムホースは時間の経過で劣化します。表面にひびが入ったり、水がしみ出てきた場合には、速やかに新しいものと交換してください。緊急の場合は、付属のクリアホースを短く切ったものでも代用できます。
- 吸水部にスポンジを付けたリ、プレフィルターを接続した状態では使用できません。ポンプが故障する原因になります。
- 海水には使用できません。
- 弱った魚や小さい魚は吸水部に吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 生体の病気や死亡、水草の枯れなどについて弊社は責任を負いません。

2.安全上の注意

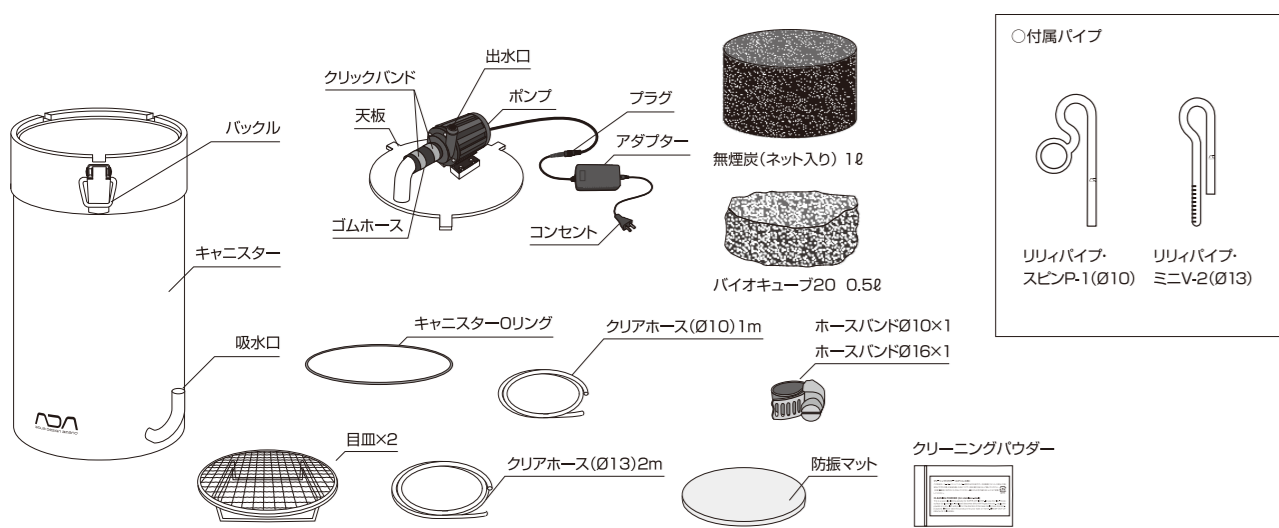
- ▲注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- コンセントやプラグは確実に差し込んでください。差し込み部に水がかかったり、ほこりなどがたまるとうトラッキング現象が起こり、火災の原因となります。定期的点検し、ほこりを除去してください。
 - コンセントやプラグに水滴がかかったり、水がコードを伝わってぬれると火災、感電の原因となります。できるだけ水槽より高く、離れた位置にあるコンセント差し込み口を使用してください。やむを得ず水槽より低い位置のコンセント差し込み口を使用するときは、いったんコンセント差し込み口より下にコードを垂らしてから接続してください。また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。
 - コンセントやプラグに水滴がかかったり、水がコードを伝わってぬれると火災、感電の原因となります。できるだけ水槽より高く、離れた位置にあるコンセント差し込み口を使用してください。
 - 感電の原因となることがありますので、水槽内に手を入れるときは電源を抜いてください。
 - ポンプは防塵、防水構造ではありません。水気の多い場所や温度の高い場所で使用すると、感電したり、ショートする恐れがあります。
 - 本機は50Hz/60Hz共用ですが、正しい電源電圧で使用してください。誤ったご使用は、火災や感電、故障の原因となります。
 - 電源コードに傷を付けたリ乱雑に取り扱わないでください。火災、漏電、感電の原因となります。
 - 電源コードに中間スイッチを取り付けたり、ポンプ本体の改造を行うことは絶対におやめください。故障や重大な事故の原因となります。
 - 本機は屋内用です。屋内でのみご使用ください。
 - 金属の鋭利な部分でケガをしたり、ガラス製パイプが割れる恐れがあります。子どもが触らないように注意してご使用ください。

3.スーパージェットフィルター ES-150の特長

- 水量35ℓ以下の水槽でネイチャーアクアリウムを楽しむのに最適な外部式フィルターです。魚の飼育や水草の育成などに広くご利用いただけます（※淡水専用）。
- ES-150の適応水槽サイズの目安：W30×D18×H24cm水槽～W45×D27×H30cm水槽
- 小型水槽に最適な流量を持つ高性能ポンプを採用。ポンプとキャニスターを分離することで、ポンプの発熱や電磁波による過激生物への影響を軽減しました。
- ステンレス製（SUS304鋼）のキャニスターは円筒形で内部に余計な構造がないため、容積が最大限に利用できます。スーパージェットフィルター・シリーズならではの高い堅牢性とデザイン性を両立したシンプルなおフォルムです。

4.部品名称

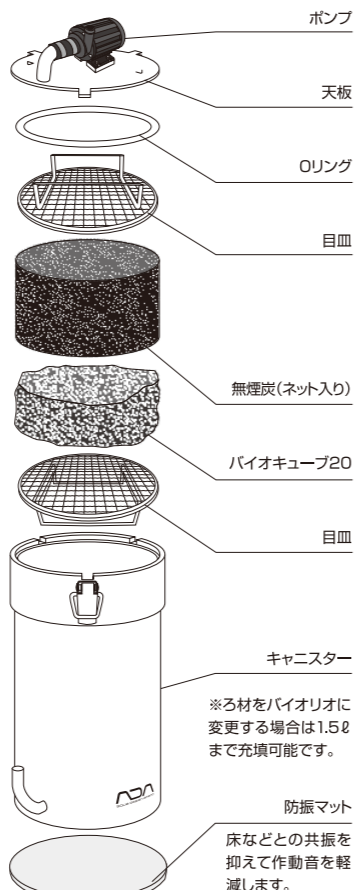
セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



5.使用方法

- ろ材のセット方法
 - ①バックルを外して天板を開け、上部の目皿とネット入り無煙炭をキャニスターから取り出します。※バックルを外す際に、爪などを備付けないように十分注意してください。
 - ②ネット入り無煙炭をビニール袋から出し、ネットに入れたまままで水かめるま湯で、細かい粉をよく洗い流してください。
 - ③下部の目皿、バイオキューブ20、ネット入り無煙炭、上部の目皿の順にキャニスターに入れます。※ネット入り無煙炭をキャニスターに入れる際には、キャニスターのエッジでネットを破らないように注意してください。また、バイオキューブ20を押しつぶさないように、そっと載せるようにしてください。※ポンプ内部に異物などが流入しないように細かい網はネットに入れて使用してください。

セット方法



- ④ポンプを起動させる前に、水槽に十分な量の水が入っていることを確認した上で、呼び水をしてフィルターの中の水を通します。呼び水は、一度出水パイプを外して出水側のホースを口で軽く吸うと簡単に行えます。ポンプの中まで水が通ったら、再びホースと出水パイプを接続してください。※ポンプの空回しは絶対にしていただき、故障の原因になります。
- ⑤ポンプの電源を入れる前に、天板の周りやホースの接続部などから水がもれていないことを確認してください。水がもれた場合は、一度フィルターから水を抜き、リングが正しくセットされているか（よじれたりゴミが付着していないか）を確認してください。キャニスター上部の接合部から水もれる場合も、リングが正しくセットされていないことが考えられます。
- ⑥電源にコンセントを差し込んでポンプを起動します。水もれや異常音が発生した場合には、すぐにコンセントを抜き、接続方法などを確認してください。なお、ポンプの起動直後、フィルターの中に空気が残っていると、ポンプから「シャー」という音がして出水に細かい泡が混入することがありますが、正常であれば数分間で消えます。※新しいろ材を最初にご使用する場合には、空気が完全に抜けるまで時間がかかることがあります。また、使用中にフィルター内に空気がたまり、断続的に水流に細かい泡が混入することがありますが、これは異常ではありません。
- ⑦起動してから30～60分後に、フィルターやホースから水もれがないことと、ポンプが正常に作動していることを必ず確認してください。※使用開始後、水面に油分が浮いた場合は、ブラケースなどですくい取ってください。

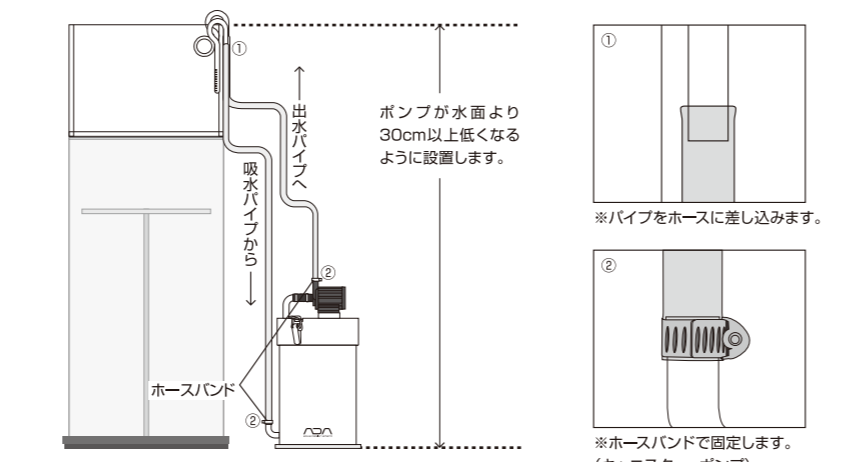
- ゴムホース用クリックバンドの取り扱いについて
- キャニスターとポンプを接続するゴムホースには、特殊な大、小2つのクリックバンドが取り付けられています。ポンプのメンテナンスの際などには、右の図にしたがって脱着を行ってください。
- クリックバンドは、マイナスドライバーで取り外すことができます（図1）。
 - クリックバンドを取り付ける場合には、マルチグリッププライヤーなどで、クリック感があるところまで締めてください（図2）。
- ※クリックバンドの角などでケガをしないよう、取り扱いに注意してください。また、着脱の際に、工具などでケガをしないよう注意してください。
- ※子どもが誤って飲み込んだりしないよう、子どもの手の届かない場所で保管してください。

6.リリイパイプ（出水パイプ・吸水パイプ）について

- [安全上の注意] ※必ずよくお読みください。
- リリイパイプはガラス製です。破損するおそれがありますので、乱暴に取り扱ったり、落としたり、不用意に力をかけないようにしてください。特にホースやキスゴムの着脱の際、水槽へ取り付ける際や取り外す際、洗浄する際などの取り扱いにはご注意ください。また、洗浄の際にお湯をかけるなど、温度を急変させるようなことは絶対にしていただき。
 - 万一、本製品が破損した場合には、割れた箇所を手で触ったり、破片などを足で踏まないようにご注意ください。ケガの原因となるおそれがあります。
 - 破損した本製品を破棄する場合は、ケガをしないように注意して取り扱い、各自治体の分別方法に従って処分してください。
 - 生体の死亡につきまして、弊社は一切の責任を負いません。
 - 子どもが手の届かない場所で保管、使用してください。

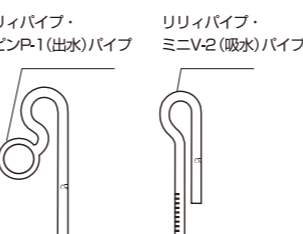
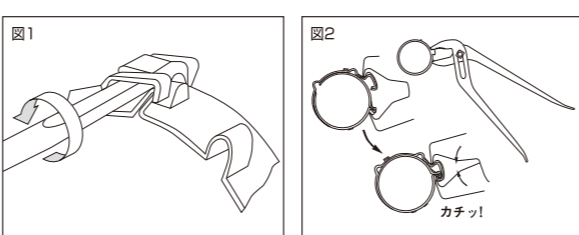
- [使用上の注意]
- リリイパイプに接続するホースは、新しいものを使用してください。古いホースは弾力がなく外れやすいので使用しないでください。
 - ホースが接続しにくい場合は、ホースの内側とパイプの外側を水でぬらすと接続しやすくなります。また、ホースが取り外しにくい場合は、パイプを一度ホースに押し込むと取り外しやすくなります。

フィルターの設置と起動



- 天板のセット方法
 - ①ろ材をセットした後、キャニスターのリング受けにろ材の破片やゴミなどが残っていないように、布などできれいに拭き取ってください。
 - ②リングにゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターのリング受けによじれないようにセットします。
 - ③リングにゴミが付いていたり、よじれていると水もれの原因になるので、特に注意してセットしてください。
- 天板の裏側にもゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターにセットします。バックルは3点ともフックを掛けてから、2点を同時にロックし、その後残りの1つをロックしてください。※バックルをロックする際に、指などを挟まないように十分注意してください。

- フィルターの設置と起動
 - ①フィルターを設置する際には、必ずポンプが水面よりも低い位置になるようにしてください。フィルターをスムーズに起動し、作動中にトラブルが起きないようにするためには、ポンプが水面から30cm以上低い位置になるように設置することをおすすめします。
 - ②吸水パイプと出水パイプを水槽に取り付ける位置を決め、長さを合わせてそれぞれのパイプに接続するホースをカットします。
- ※ホースは接続した時に折れない程度に、余裕を持った長さでカットしてください。短すぎるとメンテナンスなどの際に扱いにくいことがあります。また、長すぎるとホースが折れて水流が止まる恐れがあります。
- ③吸水パイプと出水パイプをホースでフィルターに接続します。ホースが不意に抜けないように、フィルター側の接続部は、必ずホースバンドで固定してください。※ホースバンドは、ドライバーを使用して取り付けてください。



スーパージェットフィルター ES-150使用説明書

ADA NATURE AQUARIUM SUPER JET FILTER ES-150



お問い合わせ先: ADAサービスセンター
0256-72-1994 (平日10:30～17:30)
E-mail/support@adana.co.jp
発売元:株式会社 アクリアデザインアマン
新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1 〒953-0054
ADA DESIGN AMANO CO.,LTD.
8554-1 Urushiyama, Nishikan-ku, Niigata 953-0054, Japan
MADE IN JAPAN
405103S14JE25E28



ホースの着脱の際は、必ずパイプのホース取り付け部付近を持って作業してください。取り付けから離れた場所を持って作業すると無理な力がかわり、パイプが破損するおそれがあります。

吸水パイプの吸水口に水草の葉などが吸い付いた場合には、すみやかに取り除いてください。また、吸水口にスポンジなどを取り付けるとご使用は絶対におやめください。吸水口が詰まる とポンプに負荷がかかり、故障の原因となります。

ガラス器具の洗浄には、ガラス器具専用洗浄液スーパージィおよびスプリングウォッシャー（共に別売）を使用し、スーパージィに添付の使用説明書に従って洗浄してください。

7.メンテナンス方法

●日常の点検と注意点

○出水パイプから出る水の流量が少なくなっていないか定期的を確認してください。通常、フィルターの中にゴミや汚泥がたまる と、流量は少しずつ減少します。この場合、フィルターを止めてろ材をバケツなどに出し、水槽の水を使って軽くすすいでください（2～3カ月に1回）。また、吸水パイプの吸水部に水草の葉などが詰まったりホースが途中で折れている場合や、ポンプに異物が入った場合、流量が急激に減少します。この場合は、フィルターを止めて適切な処置（ゴミなどの除去や折れたホースの修正）をしてください。

○水の蒸発や換水などで水位が下がり、吸水パイプから空気を吸い込むとポンプが止まります。そのままにしているとポンプが故障しますので、空気を吸い込んだ場合には、すぐにポンプを止めて、水槽に水を足してください。ポンプを再び起動する前には、必ず呼び水をして、フィルターに水を流してください。

○換水の際には、水がポンプやコンセントにかからないように注意してください。

●フィルターのメンテナンス

○フィルターを開け、ろ材の洗浄や交換を行う場合は、電源プラグをコンセントから抜き、吸水パイプと出水パイプを水槽から外してバケツなどに入れてフィルター内の水を抜いてください。ろ材と水を含んだフィルターは非常に重く、取り扱いには十分注意してください。

○水槽の環境が急変しないように、ろ材の洗浄や換水は同時にに行わないでください。ろ材の洗浄は、バケツなどに入れた水槽の水で軽くすすぐ程度にします。

○フィルターを開けた後、Oリングをセットする際には、よじれや傷、ゴミの付着がないことを必ず確認してください。また、劣化したOリングは早めに交換してください。

○ホースやパイプの内側に藻類などが付着した場合には、スプリングウォッシャー（別売）を使用し落とすようにしてください。

○ポンプ本体は、必要時以外むやみにフロントケーシングを開けないでください。誤ってろ材などの異物がポンプ内部に入った場合や汚れがたまった場合などむやを得ない場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、以下の手順に従って除去してください。

①スパナなどの工具を使って、ポンプを天板から外します。クリックバンドを外し、黒いゴムホースも外してください。

②フロントケーシングを固定している4本のネジをプラスドライバーで外し、フロントケーシングを取り外します。

③フロントケーシング内部やインペラに付着した汚れをブラシなどで洗い落とします。

④さらに奥のクリーニングが必要な場合は、先の尖った工具などを中蓋の取り外し穴に差し込み、中蓋を手前に押し出して外してください。

※この製品は中蓋とインペラ、スピンドルが一体になっています。これ以上の分解は行わないでください。

⑤Oリングが付いていることを確認して、フロントケーシングを取り付けます。4本のネジでしっかりと固定してください。

※インペラと中蓋を外した場合は、中蓋をしっかり押し込んでからフロントケーシングを取り付けてください。

※ポンプ用Oリングをセットする際には、よじれや傷、ゴミの付着がないことを必ず確認してください。また、劣化したポンプ用Oリングは早急に交換してください。

⑥ポンプと天板のエルボータubeをゴムホースで接続します。ゴムホースの内側を水でぬらすと接続しやすくなります。ゴムホースは取り付け方によって端から水がにじむことがあります。必ずクリックバンドを併用してください。なお、ゴムホースは、温度や湿度、紫外線などの影響で時間の経過により劣化していきます。水もれを防ぐため、劣化が見られた場合は別売のゴムホースと交換してください。また、同径のビニールホース（本体付属のクリアホース）などでも代用できますが、本製品は意匠性を考慮し、ゴムホースを採用しています。

⑦天板にポンプを固定します。

※ポンプは必要がない場合以外には外したりしないでください。なお、フロントケーシング以外の部分（モーター部）は絶対に開けないでください。

●保管する場合の注意点

○長期間使用しない場合には、フィルターから水とろ材を抜き、キャニスター内部を洗浄した後、乾いたタオルなどで十分に水分を拭き取ってから保管してください。

○水が付いた状態で長期間放置すると、天板のエルボータubeやキャニスター内部の溶接部分などに、うっすらと赤い錆が生じることがあります。これはステンレス自体の腐食ではありませんが、気になる場合は市販の錆取り剤で拭き取ってください。錆取り剤を使用した後は、十分に洗浄し、薬品を水槽に入れないようにしてください。

8.使用上の注意

○本機搭載のポンプは自吸式ではありません。水面とポンプ部の高低差が小さくすると、エアを吸い込む可能性がありますので、ポンプが水面より30cm以上低い位置に設置してください。

○吸水パイプにスポンジのような負担が掛かるものを取り付けることはおやめください。また、プレフィルター等は接続できません。吸水側に過剰な負担が掛かると、内部のインペラの消耗が生じ、エア噛みやポンプの停止などのトラブルが発生しやすくなります。

○フィルター上に紙、布など物を置かないでください。過熱の原因となります。

○ポンプの表面は、正常な動作状態でも熱を発しています。

○スーパージェットフィルターからは、常にポンプの動作音が聞こえます。これは異常ではありません。なお、ポンプに入った場合には、通常の動作音とは異なる大きな音になります。その場合には、一度ポンプの電源を抜き、キャニスターやポンプの中に入った空気を完全に抜いてから、ポンプを再び動作させてください。ポンプに空気が入った状態で使用していると、ポンプが止まる恐れがあり、故障の原因となります。

○ポンプの動作による設置面との震動音は付属の防振マットを使用することで軽減できます。

○活性炭やバイオリオなどのろ材は、必ずネットに入れてご使用ください。

○本機は安定した場所に設置してください。また、万の水もれ時を考慮し電気製品の周囲には置かないでください。

○本機を倒したり、傾けてのご使用はおやめください。水もれやポンプ故障の原因となります。

○本機はろ材や水が入った状態では非常に重くなります。運搬の際は水を抜き、安全に十分ご注意ください。また、ポンプなど天板部だけを持って本体を持ち上げることは絶対におやめください。水もれやバグell破損の原因となります。移動する場合は、必ずキャニスター本体を持ってください。

○高所からの落下など極端な衝撃を受けると、変形や破損の恐れがあります。運搬などの取り扱いにはご注意ください。また、変形した状態でご使用は水もれなどの原因となりますのでおやめください。

○製品の仕上げには、十分注意を払っておりませんが、Oリング受けの内側などにバリが出ていたり、製品の切断面等が、鋭利になっている場合もあります。ろ材の交換時や、天板を閉める際にはケガのないよう取り扱いに十分ご注意ください。

9.仕様

作動周波数 50/60Hz共通

ろ材容量 1.5ℓ

ポンプ流量 3.5ℓ/min

消費電力 5W (12VDC)

最大揚程 1.3m

作動音 35dB以下 (1m)

English

1. Before Use

○Before the installation of this product, make sure to read this instruction manual carefully and understand all of its directions.
○Please keep this instruction manual even after reading it and refer back to it when needed.
○Please be forewarned that ADA is not responsible for any breakage, damage and/or accident caused by improper use of this product.

○Never operate the Pump without water circulating in it. Always connect tubes and hoses correctly, and let water circulate in the filter (pump) before turning the power on.
○Black Rubber tube connecting Canister and Pump wears with time. Replace with a new hose immediately in case crack is developed on the surface or water seeps out from the hose.
○In case urgent replacement is required, cut the attached Clear hose in a short piece and use as a substitute.

○SUPER JET FILTER cannot be used with a sponge attached at inflow area, or a prefilter connected with SUPER JET FILTER. They may cause breakage of the Pump.
○SUPER JET FILTER cannot be used for marine aquarium.
○Pay special attention to deceptif fish and small fish as they can be sucked into the inflow area.
○ADA shall not be responsible for any disease and death of fishes, and condition of plants.

2. Safety instructions

[CAUTION] Using this product without observing following precautions may cause serious bodily harm or damage of property.
○Insert Power plug into the outlet securely. Water splashing and dust accumulation on the Power plug may become a cause of fire. Please conduct a periodical checking and remove dusts.
○Water splashing or running down through electrical cord on the outlet or power plug may become a cause of fire or electrical shock. Please choose to use the outlet in a higher position, and keep a distance between the filter and outlet as much as possible. In case of using the outlet in a low position with no alternative, drop the electrical cord down on the floor, and insert the power plug into the outlet. The use of ground-fault interrupter is also recommended.

○The Pump does not have dust-proof and water-proof structure. There is a risk of electrical shock or short circuit in case of using it at places with a lot of moisture and high humidity.
○This product can be used at 50Hz and 60Hz, but it needs to be used at proper power-supply voltage. Improper use may cause fire, electrical shock, or failure.
○Do NOT damage the Power plug or mishandle it. It may cause fire, electrical leakage, or electrical shock.
○Never mount an intermediate switch to the Power plug or convert the Pump. It may cause failure or serious accident.
○This product is designed for indoor use. Use it only indoors.
○There is a risk of injury by cutting yourself with the sharp part of the metal or broken glass pipe. KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN.

3. Special feature of SUPER JET FILTER ES-150

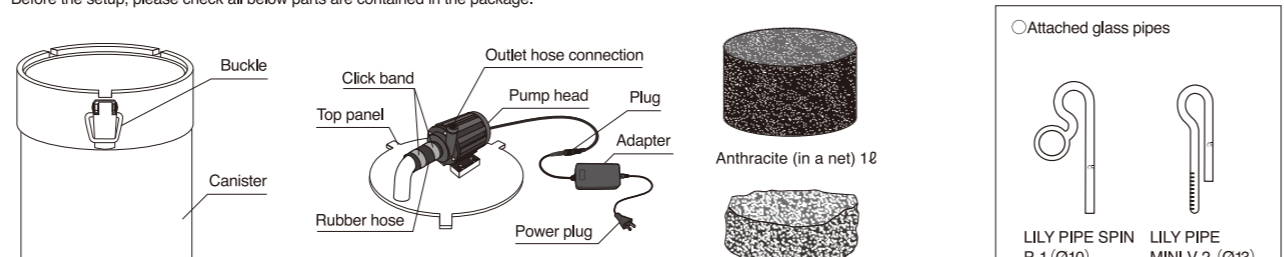
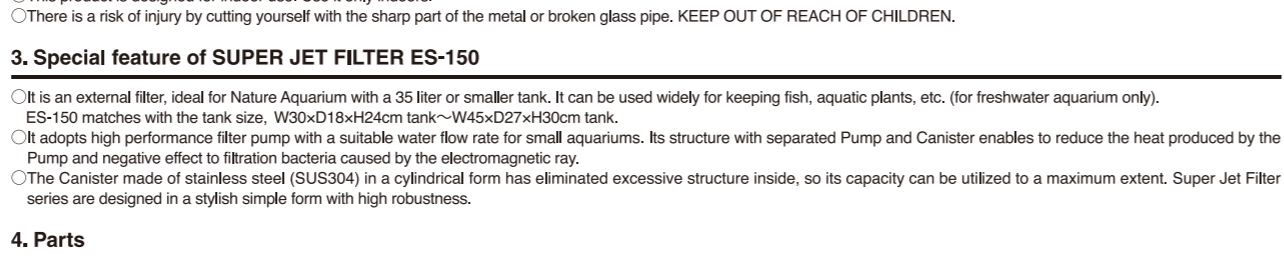
○It is an external filter, ideal for Nature Aquarium with a 35 liter or smaller tank. It can be used widely for keeping fish, aquatic plants, etc. (for freshwater aquarium only). ES-150 matches with the tank size, W30×D18×H24cm tank～W45×D27×H30cm tank.

○It adopts high performance filter pump with a suitable water flow rate for small aquariums. Its structure with separated Pump and Canister enables to reduce the heat produced by the Pump and negative effect to filtration bacteria caused by the electromagnetic ray.

○The Canister made of stainless steel (SUS304) in a cylindrical form has eliminated excessive structure inside, so its capacity can be utilized to a maximum extent. Super Jet Filter series are designed in a stylish simple form with high robustness.

4. Parts

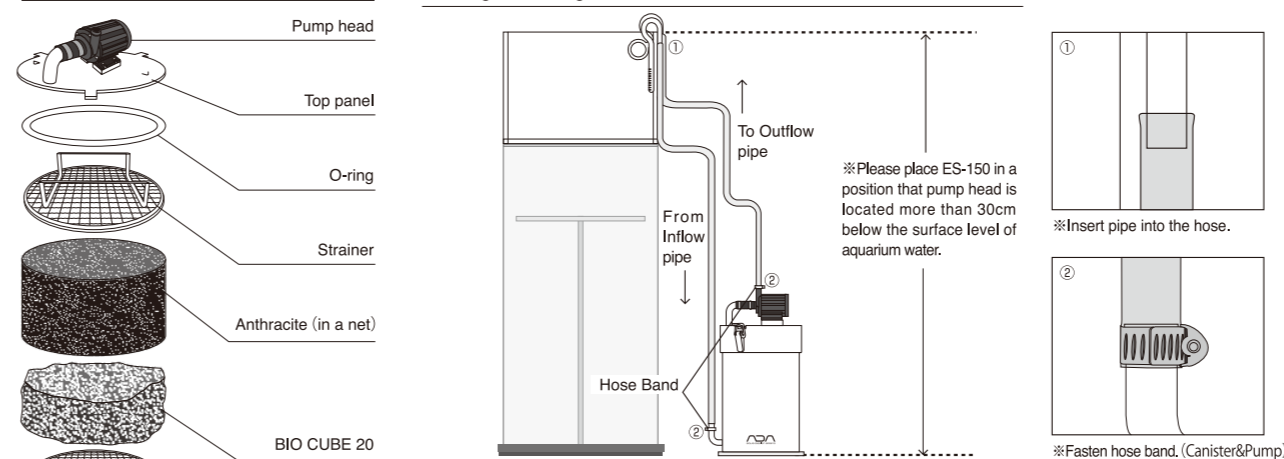
Before the setup, please check all below parts are contained in the package.



5. Usage

●Setting up the filtration media
①Unlock the Buckle, open the Top panel, and take out the upper Strainer and Anthracite in a net from the Canister. ※Be careful not to hurt your nails when unlocking the Buckle.
②Take out the Anthracite from a plastic bag, keeping the Anthracite in the net, and wash it with water or warm water to take the fine powders away.

Installation of filtration media



③Place the followings in the mentioned order from the bottom of Canister: lower Strainer, BIO CUBE 20, Anthracite in a net, and upper Strainer. ※When placing the Anthracite in the Canister, be careful not to tear the net with the edge of Canister. For BIO CUBE 20, place it gently without crushing. ※For preventing foreign particles get inside the pump, please use a net for setting tiny filtration materials inside the canister.

●Setting up the Top plate
①After setting the filtration media, wipe off the particles of filtration media and dust remaining on the O-ring acceptor using a cloth.
②Make sure there is no dust on the O-ring then set the O-ring to the O-ring acceptor, without having a crinkle. ※Pay extra attention at the setup as remaining dust or crinkle on the O-ring may become a cause of water leakage.

③Make sure there is no dust on the back side of the Top plate and install the Top plate to the Canister. For buckles, first hung all 3 Buckles on the hooks, then buckle down 2 buckles at the same time, and then buckle down the remaining one. ※Be careful not to squeeze your fingers when locking the Buckles.

●Installing and starting the filter
①When installing the filter, make sure that the position of Pump is lower than the water surface. It is recommended to place the Pump more than 30cm lower from the water surface in order to start the filter smoothly and avoid troubles during operation.

②Decide the position of the Inflow and Outflow pipe, and the length of the hose, and cut each hose at the appropriate length. ※Clear hose should be cut with some extra length not to bend it when installed to the tank. If Clear hose is cut too short, without any extra length, it may be difficult to handle during the maintenance. If too long, the hose may bend and block the water flow.

③Connect the Inflow pipe and Outflow pipe to the filter with Clear hose referring to the figure on above Right. Make sure to clamp the connecting part of filter with Hose Band firmly to avoid the hose to be unexpectedly disconnected. ※Use a screwdriver for clamping Hose Band.

④Before operating the Pump, make sure there is an adequate amount of water in the aquarium tank then start circulating the water by pump priming. Pump priming can be easily done by disconnecting the Outflow pipe once and suctioning the hose at the Outflow side with your mouth lightly. When the water gets inside of the Pump, connect the hose and Outer pipe again. ※Never operate filter without water circulating in it. It may cause breakage.

⑤Before turning on the power of the filter, make sure that water is not leaking around the Top plate and connecting part of Clear hose. If water leakage is found, take out the water from filter once and check if O-ring is set properly (without any crinkle and dust). Water leakage at the connecting part of upper Canister can also be due to improper setting of O-ring.

⑥Insert the Power plug into outlet and start the Pump. In case water leakage or abnormal sound occurs, unplug the Power plug immediately and check that the connection is correct. Right after the initial operation of the Pump, it may produce a hiss sound and fine bubbles in the outflow water if air is remaining inside the filter. However, in normal case, these symptoms will disappear in few minutes. ※In case of using a new filtration media at initial operation, it may take some time for the air to be escaped completely. In some cases, air may be accumulated inside the filter during the use, and fine bubbles may be mixed intermittently in the water flow, but it is not abnormal.

⑦Make sure to check there is no water leakage from the filter and hose and the Pump is operating properly 30 to 60 minutes after starting the filter. ※In case oil is found on the aquarium water after running the pump, please scoop the oil with a small plastic container.

●Handling of Click band for Rubber hose
The Rubber hose connecting the Canister and Pump is equipped with special Click bands of two different sizes. At maintenance, disconnect and reinstall the Click band according to the figure on the right.

○Use flat-blade screwdriver to remove Click band (Figure 1).
○When mounting the Click band, close it until you feel the click, using a tool such as multi-grip plier (Figure 2).
※Handle with care not to hurt yourself with the corner of Click band. Be careful not to hurt yourself with tools at removing and reinstalling.

※For storage, keep out of reach of children to prevent them from accidentally ingesting the part.

6. LILY PIPE (Inflow glass pipe and Outflow glass pipe)

[Safety instruction] ※Please read carefully
○LILY PIPE is made from glass. Avoid mishandling, dropping, and exposing to sudden pressure as they may cause breakage. Handle with care especially when removing and reinstalling hose and suction cup, setting up to the tank, and cleaning. Never subject glassware to sudden temperature change, for example, exposing to hot water for cleaning.

○In case the glassware is broken, be careful NOT to touch the broken part or step on broken fragment. They may cause injury.
○When disposing the broken glassware, be careful not to cut yourself and dispose it according to your local regulation.
○ADA shall not be responsible for any disease and death of fishes, and condition of plants.
○KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN

[Usage instruction]
○Use new hose for connecting to LILY PIPE. Do NOT use used hose as it is inelastic and easily comes off.
○In case it is hard to connect a hose, moisturizing inside of the hose and outside of the pipe with water makes the operation easy. In case it is hard to remove the hose from the pipe, push the pipe into the hose once then gently disconnect.

○When removing and reinstalling hose, make sure to hold a point close to the hose connecting part of the pipe. Holding a point away from the suction cup connecting part provides unnecessary force to the pipe and may cause breakage.

○If leaves of aquatic plants stick to the opening of Inflow tube, remove them immediately. Do NOT attach a sponge at inflow opening. Clogging of the inflow opening causes unnecessary force to the Pump and breakage of the part.

○For cleaning of glassware, use a special detergent for cleaning glassware, SUPERGE and SPRING WASHER (both are sold separately), and wash according to the procedure

in the SUPERGE's instruction manual.

7. Maintenance

●Daily check and caution
○Conduct a periodical check to see if the amount of water flow from the Outflow tube has been decreased. Usually, the amount of water flow decreases if dust or sludge is accumulated inside the filter. In such case, stop the filter, take out the filtration media to a container such as a bucket, and wash it lightly with the aquarium water (once every 2 to 3 months). If the opening of Inflow pipe is clogged with leaves of aquatic plants, the hose is bent in the middle way, or foreign subject gets into the Pump, the amount of water flow significantly decreases. For such case, stop the filter and take an appropriate action (removing dust or correcting the bent hose).

○The Pump stops its operation when the water level becomes low and air is sucked into the Pump due to evaporation of water or water change. In case air gets into the Pump, stop the Pump immediately and add some water to the tank; leaving the symptom may cause breakage of the Pump. When re-starting the Pump, always perform pump priming and let some water circulate in the Pump.

○Be careful that the water does not get splashed on the Pump or Power plug at water change.

●Filter maintenance

○When opening the filter to clean or replace the filtration media, unplug the Power plug, remove Inflow and Outflow pipes to a bucket, and drain the water in the filter. Handle with care as the weight of the filter containing filtration media and water can be quite heavy.

○Do NOT clean the filtration media and change water at the same time. For cleaning of filtration media, washing lightly with the aquarium water in a bucket is enough.

○When opening the filter to set the O-ring, make sure that there is no dust or crinkle. When O-ring is worn out, replace it as early as possible.
○If algae is accumulated inside of hose or pipe, wash it using SPRING WASHER (sold separately).

○Do NOT open the Front casing of Pump unless absolutely necessary. In such case, for example foreign subject including filtration media accidentally gets into the Pump or dust is accumulated inside it, unplug the Power plug first then remove the foreign subject or dust according to the following procedure:

①Remove the Pump from Top plate using tools such as screw wrench. Remove Click band and black Rubber tube as well.

②Unscrew 4 screws with a Phillips screwdriver, and remove front-casing.

③Wash off the dirt attached inside the front-casing, and impeller with a brush.

④In case the cleaning of motor part is necessary, insert a pointed tool into a release hole, and remove the cover by pushing out forward.

※Impeller, cover, and spindle are integrated. Do not disintegrate this part.
⑤Before attaching the front-casing, make sure O-ring is in a right position. Then fix the front-casing firmly with 4 screws.

※When impeller and cover are removed, make sure to push the cover deep inside before attaching the front-casing.

※When setting O-ring, please confirm there are no twists, flaws or attachment of dusts. Deteriorated O-ring must be exchanged early.

⑥Connect the Pump and the elbow part of Top plate using the Rubber hose. Moisturizing inside of the hose with water makes the operation easy. Depending on how Rubber hose is connected, water may distill from the end of hose. Always use Click band together. Rubber hose deteriorates in time due to temperature, humidity, and ultraviolet light. If deterioration of Rubber hose is observed, replace with a new rubber hose which is sold separately to avoid water leakage. Any plastic hose in the same diameter (or attached Clear hose) can be used instead of Rubber hose, but SUPER JET FILTER applies Rubber hose to value the importance of design.

⑦Clamp the Pump on the Top plate.
※Do NOT detach the Pump or break it into parts unless absolutely necessary. Never open the parts (Motor) other than Front casing.

●Cautions for storage
○If this product would remain unused for a long period of time, take out the water and filtration media from the filter, wash inside of the Canister and completely wipe off the water with a dry towel before storing.

○If this product is left wet for a long period of time, red rust may appear on welding area of the elbow part of Top plate or inside of canister. It is not the rust of the stainless steel itself, but in case it is disturbing for you, the rust can be wiped off with rust removal which is available in market. After using the rust removal, rinse this product thoroughly and keep the chemical agent out of the aquarium.

8. Usage instruction

○The Pump installed in this product is not a self-suction pump. Place the Pump more than 30cm lower from the water surface as it may suction air if the height difference between water surface and the Pump is too small.

○Do NOT attach a sponge on the Inflow pipe as it causes unnecessary force. Prefilter cannot be connected to this product. Putting too much stress on the inflow side would result in wear of internal Impeller and troubles like air entrapment or stopping of the Pump occur more frequently.

○Do NOT place paper, cloth, or any other object on the filter. It may cause overhear.
○The Pump produces heat from its surface even during the normal operation.

○SUPER JET FILTER always produces operating sound when it is working. The operating sound is not abnormal. However, in case air gets into the Pump, it produces a loud sound that is different from normal operation sound. In such case, unplug the Power cord and evacuate the air in the Pump and Canister completely, and re-start the Pump. If the Pump is kept working with air trapping inside, it may cause the Pump to stop or breakdown.

○The vibrations from the pump while operating can be reduced using the included mat.

○Place this product at a stable location. Considering the possibility of water leakage, do NOT place this product around electrical products.
○The filtration media such as activated carbon or Bio Riao must be used by setting inside a net.

○Do NOT lay or lean this product when in use. It may cause water leakage and breakage of the Pump.
○This product becomes significantly heavy when filtration media and water are contained. When moving it, drain the water first, and always concern your safety. Never carry this product only by holding the Pump and/or Top plate. It may cause water leakage and breakage of the Buckle. When moving, always carry the body of Canister.

○Dropping this product from high place or exposing it to extreme shock may result in deformation or breakage. Handle with care when carrying and moving. If this product gets deformed, stop using it as keep using the deformed part may lead to water leakage or other problems.

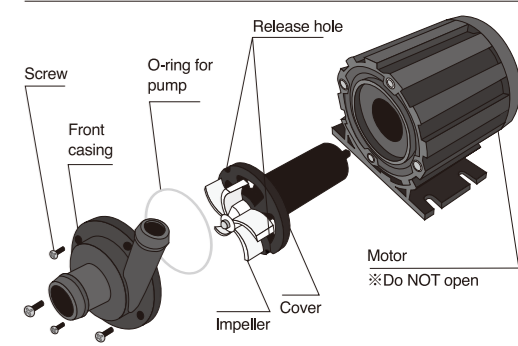
○This product is made with careful finishing treatment, but in rare case, burr may be found on the inside of O-ring acceptor or the cross section of the product may be sharp. When replacing the filtration media or closing the Top plate, pay extra attention not to hurt yourself.

9. Specifications

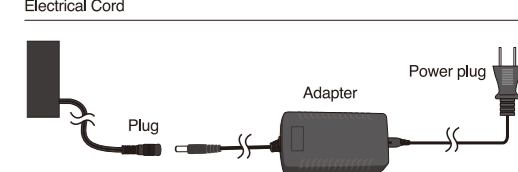
Operating frequency: 50/60Hz
Filtration capacity: 1.5 ℓ
Pump flow rate: 3.5 ℓ/min.
Power consumption: 5W (12VDC)
Maximum head: 1.3m

Operating noise: less than 35dB (at the distant of 1m)

Parts of the Pump head



Electrical Cord



※Please keep liquids away from all parts including Plug, Adapter and Power plug.